

きらめく夢をこの手に抱いて

スマイルハートプラン〜障害者(児)支援団体の紹介〜

vol.6

「救護施設での取り組み」

七尾更生園は、生活保護法による生活扶助を受ける人（18歳以上）が身体または精神上に障害があるため、日常生活に支障をきたす場合に生活扶助することを目的とした施設です。

当園は、昭和32年本府中町に更生施設として定員30名で発足しました。昭和54年に救護施設に変更し、のちに建物の老朽化により平成7年9月に現在の中挾町に移転しました。現在97名の利用者が生活しており、日課として、生活班と作業班に分かれ、個人にあった活動を行っています。



また、いろいろな行事を開催し、ボランティアや地域の方々との協力を得て、利用者との交流も盛んに行なっています。

「施設から地域社会へ」の考えから利用者が地域社会で生活できるように支援しています。昨年度から救護施設居宅生活訓練事業の認可を受け、園の近くに一軒家を借り、5名の利用者が、地域の中で普通の暮らしができることを目指しています。

今年10月、更生園は創立50周年を迎えます。福祉政策の大きな変革の中で施設の役割にも変化が求められるようになりました。今後は利用者一人ひとりの希望を叶えられる施設になるように努力していきます。

七尾更生園の理念

一人ひとりを大切に笑顔とやすらぎある暮らしを支援します。

社会福祉法人 松原愛育会

救護施設 七尾更生園

☎ 57-3939

「スマイルハートプラン」とは、笑顔で支え合う、ともに生きる心を重視した「七尾市障害者計画」の通称名です。

ひと・人・ヒト



杉原 剛さん

すぎはら つよし

瀬嵐区の青壮年団団長として地域の行事等に努める。

今年、1月1日から1年間、瀬嵐区の青壮年団、26人の団長として祭や地区行事などに努めています。

これまでも団員や副団長などとして青壮年団の活動してきましたが、団長になってはじめて解ることが色々あります。また、団長として伝統を守りつつ、時代に合わせた新しいことにも取り組んでいます。

今月20日に行なわれるお熊甲祭が1年の最も大きな行事で、現在は、準備などに忙しい日々を送っています。祭の当日に、たくさんのお客様が来てくれると、祭も参加者もさらに盛り上がります。また、近くで見ることが出来る祭ですのみなさん、ぜひ、見に来てください。

